

長及務常務ト會見し折衝ヲ重ネタル結果千石ハ將左ノ覺書ノ通  
解決セリ

覺書

一、準備負(人夫)ハ今後ノ預金ヲ安定スル為メ半數ノ解雇ヲ認ム  
ルコト

二、会社ハ解雇手當トシテ老人宛金六十三円也ヲ支給レ外ニ共済  
會ヨリ金廿四也ヲ贈ルコト

三、金廿四五十錢也ノ天引貸ハ調査研究ノ上重役ノ快議ヲ至ラキ  
ケ月以内ニ自發的ニ行フコト 但レ一人宛金十五円也ニ達シ  
タル時ハ更ニ慢延スルコト

四、傭人(倉方)ノ解雇者四名ニ對シ解雇手當トシテ一人宛月收  
ニケ月ニ相當スル金額トシ外ニ十一月八日迄ノ預金ヲ支給ス  
ルコト

右ノ通り慢延シ覺書ニ通リ作製シ各自其ノ一通ヲ保有ス

昭和五年十一月十三日

隅田川合同運送株式会社

取締役社長

大森辰三郎

從業員代表

丹羽三之助

仲沢藤治

右及申(通)報候也